

# タイトル・みんなが使いたくなるコンビニ

c 1 2 4 0 3 5 1 · 榎本成希

## 問題・利用者のニーズに応える新しいコンビニ

今のコンビニでも十分満足しているという声も多いです。ですが、今以上に利用者を増やすためや、今まで以上に満足してもらうためにも改善点は少なくないです。そこで、コンビニにはあるけど他のところにはないもの、他のところにはあってコンビニにはないものを考えてみました。

今コンビニを利用している人は食品の購入という目的や atm などという目的で利用している人が多いです。ですが、今のコンビニには欠けている部分が多いです。それは、買い物を済ませられるということです。コンビニとは色々な店の物に似た商品を売っているので、他のところでも済ませられるからです。これらのことから、コンビニに足さなければならぬものは何かという課題ができます。

私は利用者が満足できるようなコンビニにするために3つのことを考えました。

1つ目はポストや宅急便を設置することです。それをすることで家からコンビニが遠い時や、どこか寄った時の帰り道にコンビニしかない時など、コンビニにそういう物があると便利だし、出したいものがあるときに出せるところが多くなるのはとても助かると思うからです。

2つ目はドラッグストアなどにおいてある医薬品などの販売です。急に体調が悪くなったり薬が切れた時など、深夜とか遅い時間だとドラッグストアがやっていないため緊急でほしい時など買えないため、コンビニにあると便利だと思うからです。

3つ目は賞味期限切れの商品にシールを貼ることです。スーパーなどでは賞味期限切れの近い商品に割引のシールを貼り、それを買ってもらうということをしています。コンビニでもそれをしてことで、廃棄を減らすことができ、利用者も安い価格で買えるという利点があるのでお互い得するのでコンビニに必要です。

これらのことを行うことで得られる効果は3つあります。

1つ目は、郵便物を身近なところで送ることができるという利点があります。さらに、地域の顧客にとってはそこがより便利な存在となります。

2つ目はコンビニで医薬品を売ることで、深夜の体調不良や、ドラッグストアがやってない日の薬の購入をしたいときなど、コンビニで買えるという利点があります。ですが、コンビニで買える薬は限られているものがあります。それは第1類医薬品です。これは、ちゃんとした薬剤師がいないと購入できないものです。なので、そういう部分では課題になってきます。コンビニでも第一類医薬品を販売できるようになると、コンビニを利用する人も増えるし、利用者で満足する人も増えると思います。

3つ目は賞味期限切れの近い商品に割引のシールを貼ることで、店側からしたら値引き金額がわかりやすく計算しやすい、わかりやすいアピールに便利です。さらに、食品の廃棄を減らし、環境を守ることにつながります。逆に賞味期限がそのまま切れると廃棄になってしまい、社会全

体で環境負荷や資源の無駄使いなどの問題が起こってしまいます。そして、食品を焼却処理する際に排出される CO<sub>2</sub> が地球温暖化の要因となる温室効果を助長され、食品ロスが増えることで、結果的に地球温暖化を進行させてしまいます。

これらのことを行うことでコンビニの利用者のニーズに応えれると思います。